

みずほCustomer Desk Report 2017/10/17号(As of 2017/10/16)

【昨日の市況概要】

				公示仲値		112.08
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.89	1.1815	132.19	0.9747	1.3297	0.7886
SYD-NY High	112.29	1.1820	132.37	0.9768	1.3312	0.7893
SYD-NY Low	111.65	1.1780	131.68	0.9731	1.3225	0.7842
NY 5:00 PM	112.19	1.1796	132.35	0.9756	1.3255	0.7850
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			8.04/8.39	△25RR	1.378	Yen Call Over
NY DOW	22,956.96	85.24	債券市場	日本2年債	-0.1400	0.1bp
NASDAQ	6,624.01	18.20		日本10年債	0.0640	-
S&P	2,557.64	4.47		米国2年債	1.5379	4.5bp
日経平均	21,255.56	100.38		米国5年債	1.9497	5.0bp
TOPIX	1,719.18	10.56		米国10年債	2.3034	3.0bp
シカゴ日経先物	21,370.00	105.00		独10年債	0.3720	▲3.1bp
ロンドンFT	7,526.97	▲8.47	為替市況	英10年債	1.3360	▲3.1bp
DAX	13,003.70	11.83		豪10年債	2.7480	▲4.4bp
ハンセン指数	28,692.80	216.37		USD/CNH	6.5829	0.0146
上海総合	3,378.47	▲12.05		ドルインデックス	93.31	0.22
USDJPY 3M Vol	8.38	▲0.18%	商品市況	CRB指数	184.621	▲0.21
USDJPY 6M Vol	9.03	▲0.12%		NY金	1,303.00	▲1.60
EURJPY 3M Vol	8.13	▲0.15%		WTI	51.87	0.42
EURJPY 6M Vol	9.26	0.05%		Dubai Spot	55.97	0.44

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月16日	10:30	中 CPI(前年比)	9月 1.6%	1.6%
	10:30	中 PPI(前年比)	9月 6.9%	6.4%
	21:30	米 ニューヨーク連銀製造業景気指数	10月 30.2	20.4

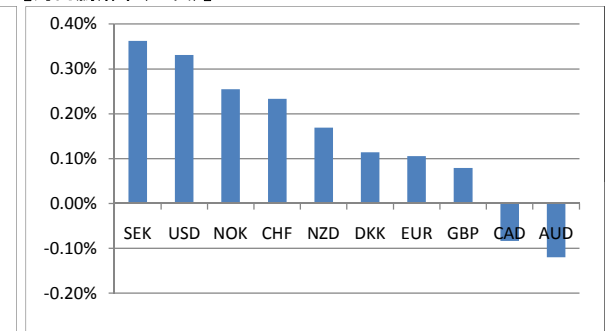
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月17日	9:30	豪 RBA理事会議事録公表(10/3開催分)	-	-
	17:00	欧 コンスタンシオECB副総裁 講演	-	-
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	9月 0.3%/3.0%	0.6%/2.9%
	17:30	英 PPI(前月比/前年比)	9月 0.2%/3.3%	0.4%/3.4%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)	9月 0.4%/1.5%	0.3%/1.5%
	18:00	独 ZEW現状指数/期待指数	10月 88.5/20.0	87.9/17.0
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	9月 0.3%	-0.9%
10月18日	2:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.90-112.50	1.1780-1.1880	132.00-133.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場のドル円相場は、大きく上昇した。NY連銀景気指数は予想を大きく上回ったものの、市場の反応は限定的。しかしながら、次期FRB議長選でスタンフォード大学のテイラー氏がトランプ大統領の高い評価を得たと報じられたことを受け、米金利の上昇を通じ、ドルインデックスが上昇。ドル円も一段高となり、112円台を回復している。本日のドル円相場は横ばいの推移と予想。本日は米フィラデルフィア連銀総裁の講演等が控えているため、日中のドル円市場は112円を挟んで方向感なく推移しそうだ。

東京	週明け東京時間のドル円は111.89レベルでオープン。仲値にかけてドル買い優勢の地合となる中、一時東京時間高値となる112.08まで上昇。しかし、先週金曜日のドル売りの流れを引き継ぎ、徐々に値を下げる展開に再び111円台後半まで下落。午後に入り、ローゼングレン・ボストン連銀総裁(投票権なし)が「来年は3-4回の利上げがおそらく適切」との認識を示した内容が一部で報じられたものの、マーケットの反応が限定的。その後も上値重い推移が続き、111.82レベルで海外市場に渡った。一方、ユーロは1.1815レベルで東京時間オープン。その後、日中は動意に乏しい展開が続いていたものの、東京時間引けにかけて「カルニャ州首相、ラホイ・スペイン首相への書簡で独立宣言について明確に回答せず」との報道を受けて、同問題への不透明感が嫌気され下落する展開。一時1.1790まで値を下げ、1.1791レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は111円台後半でもみ合い推移。朝方は111.82レベルでオープン。序盤にポンドドルを中心としたドル売りが散見され、ドル安につられる形でドル円は一時安値となる111.65まで下落。その後も上値の重さは続いたものの、安値をつけたあと勢いは続かず、111円台後半でのレンジ推移に終始し、111.73レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.33ちょうど近辺でもみ合い推移。朝方は1.3276レベルでオープンし一時的に1.3312まで上昇。しかし、その後は1.33ちょうど近辺で横ばい推移となり、1.3299レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 日比野)
ニューヨーク	NY時間のドル円は111.73レベルでオープン。朝方は米10月NY連銀製造業景況指数が予想を上回り、111.88まで上昇するものの上値は重く、111.66まで反落。その後、しばらくは狭いレンジ内での推移が続くものの、「米国と北朝鮮がモスクワで対話する」とのヘッドラインを受け円売りが強まるも112.05まで上昇。しかし、この噂はすぐに否定されたことから111.84まで反落し、その後テイル・ルールの提唱者として知られ、QEに反対しているスタンフォード大教授のテイラー氏とウォルシュ元FRB理事が次期FRB議長の候補に残っているとのヘッドラインが伝わったことからドル買いが強まり、112.29まで上昇。その後は閑散な取引が続き、112.19レベルでクロスした。一方、今後のカルニャ州の方向性が不明であることに加え、ユーロ圏8月貿易黒字が予想を下回ったこともあり、一時1.1780まで下落したユーロは1.1806レベルでNYオープン。朝方はNY連銀製造業景況指数の結果を受けて下押しする場面が見られたものの、その後は上下動を繰り返す中で一時高値となる1.1820まで上昇。しかし午後に入り、テイラー教授、ウォルシュ元FRB理事が次期FRB議長の候補に残っているとのヘッドラインを受けドル買いにより1.1786まで反落。終盤に掛けては狭いレンジ内での推移が続き、1.1796レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。